

埼玉県教育委員会様 事例

システム概要:

埼玉県内、県立学校186校(中学校1校、高等学校155校、特殊教育諸学校30校)向けWebシステム

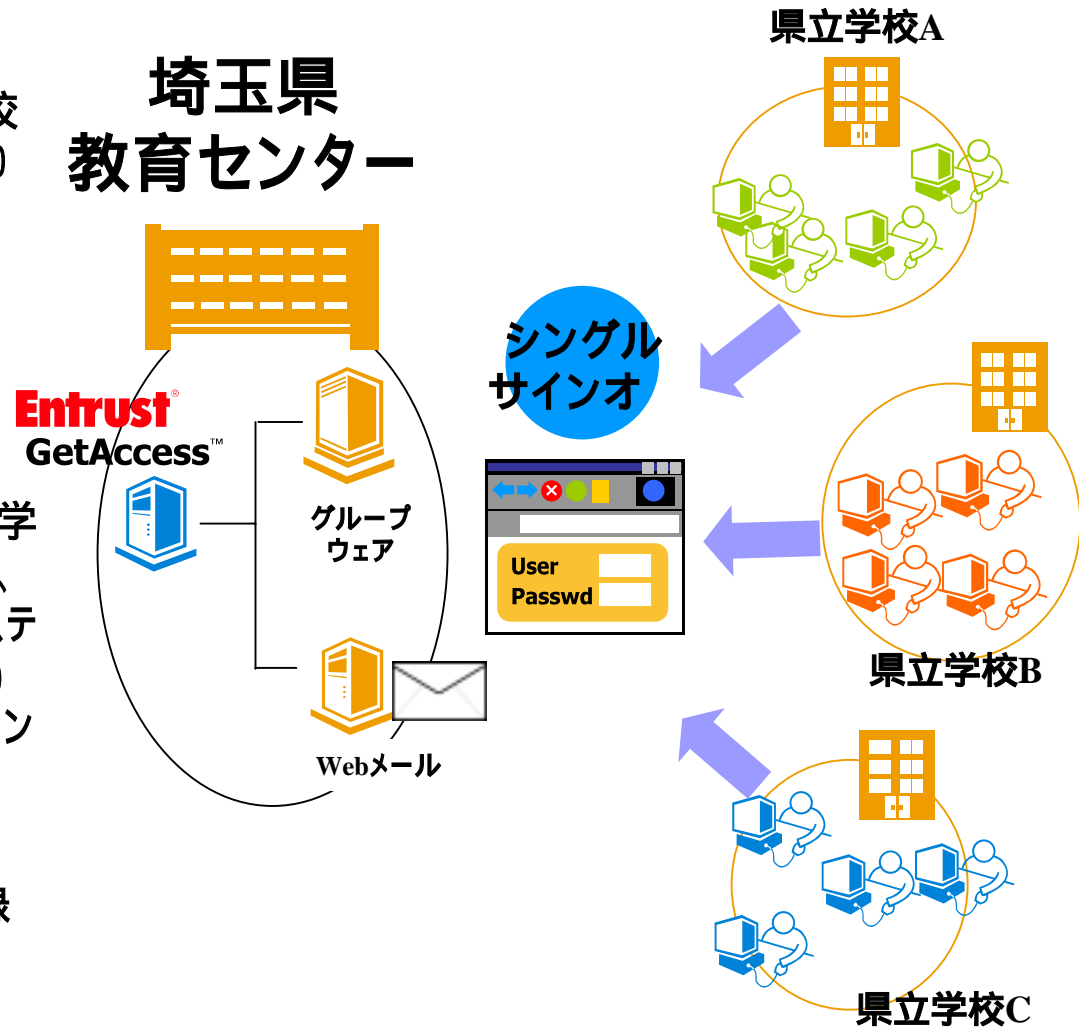
導入時期: 2003年4月

利用者数: 160,000ユーザー

導入の目的:

- 1) 県立学校186校(中学校1校、高等学校155校、特殊教育諸学校30校)向け、教育の情報化を推進するための、Webシステムにおける、利用者(児童・生徒・教職員)のユーザーID管理負担の軽減及び、ログイン手順の低減
- 2) 同システムの利用者である各校の利用者分の、教職員による、ユーザー登録作業負担の軽減

埼玉県教育センター



埼玉県教育委員会様 事例

システムの説明:

高等学校の新教科として「情報」が2003年より実施されることを機会に、埼玉県教育委員会では、特別なPCクライアントソフトウェアを必要としないWebメール、Webグループウェアを採用。埼玉県立総合教育センター深谷支所に置かれた共通のWebアプリケーションを県立学校(述べ186校)からインターネット経由でアクセスする形態となっている。

Entrust GetAccessを導入することで、これらWebメール、Webグループウェアに一回のログインでアクセスすることを実現している。

一つのユーザーID/パスワードのみ管理すればよいため児童生徒の負担がすくなく、利便性も高い。また、ユーザー情報を登録する、各校の教員は、ユーザー登録をWebシステム毎に行うのではなく、Entrust GetAccessに対してのみ登録すればよいため、運用性にも優れている。

述べ160,000人にもものぼり、ピーク時には数万のアクセスがある環境にも関わらず、負荷によるトラブルもなく、安定したシステムであり、埼玉県における「教育の情報化」の基盤を支えている。

！選定のポイント:

本シングルサインオンシステムの利用者は、生徒児童15万人、教員1万人、合計16万人以上という大規模な人数から利用されるため、NTT東日本様では、大規模利用者数での実績があることが、シングルサインオン製品を選定する上での最も重要な条件であった。Entrust GetAccessは、国内で、利用者十万人以上の実績が既に数社あり、海外では利用者400万人という実績があり、要件を十分に満たしていた。